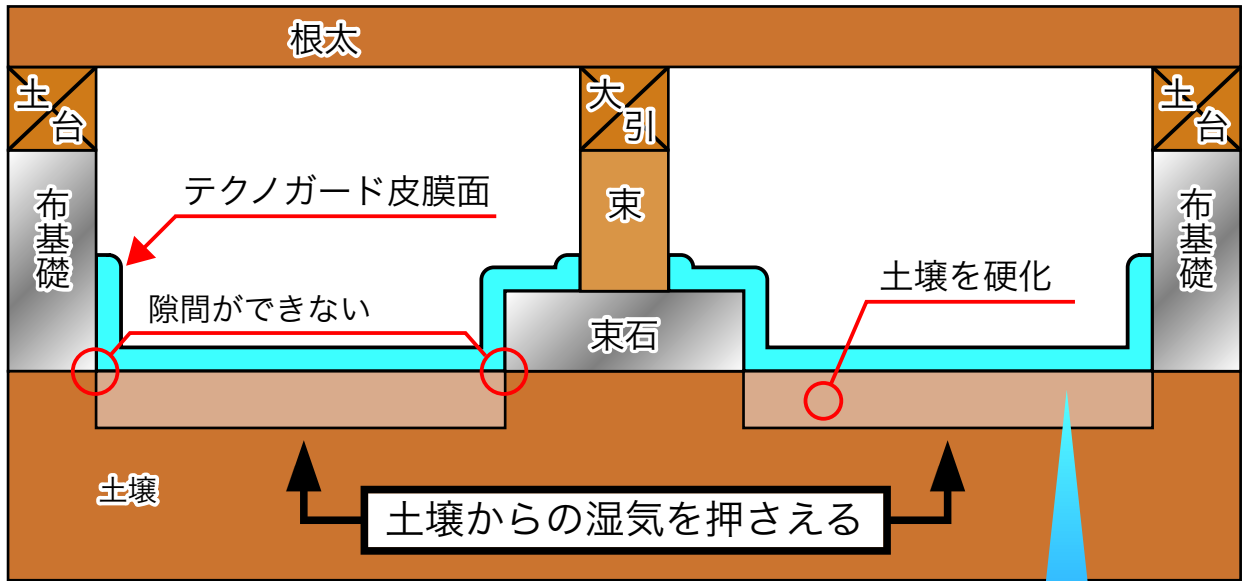
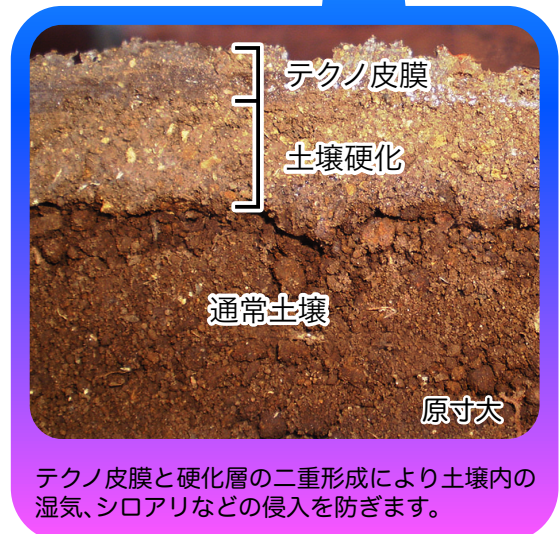
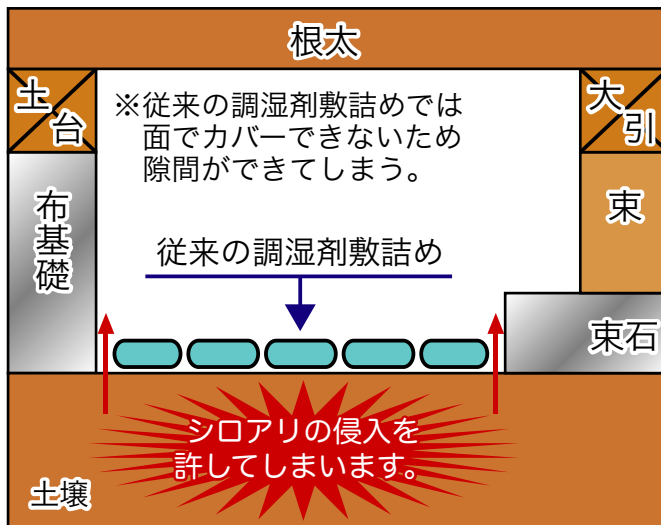


テクノガード工法



- 防蟻剤の入ったポリマー系樹脂を土壌、立ち上り布基礎、束石、束に隙間無く散布し樹脂皮膜を形成することで、シロアリと土壌湿気を防ぎます。



テクノ皮膜と硬化層の二重形成により土壌内の湿気、シロアリなどの侵入を防ぎます。

- 従来の調湿剤敷詰め工法ではどうしてもできてしまう、立ち上り布基礎、束石との際部分の隙間もテクノガードは樹脂吹付による皮膜形成なのでこうした所も隙間無く皮膜するので、**より防湿防蟻効果が得られます。**
- 皮膜自体に防蟻剤(通常通り5年保証)が入っていて通常のシロアリ防除処理と同様に、薬剤効力は無くなっていきますが、皮膜が隙間無くかかっている分シロアリが再び上がりにくくなります。
- 水性製剤のため、臭いが少なく、居住者への安全性に優れています。
- 保証期限切れ後の再施行をお客様が希望された場合、土壌表面に皮膜がかかっているため、薬剤散布量は大幅に減ります。(木部処理は通常処理です。)